

どんぐり村の こみ・すく通信

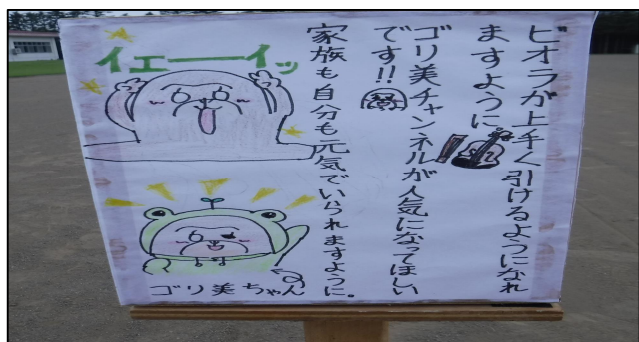
令和8年8月10日発行

令和8年度 **第9号**

更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

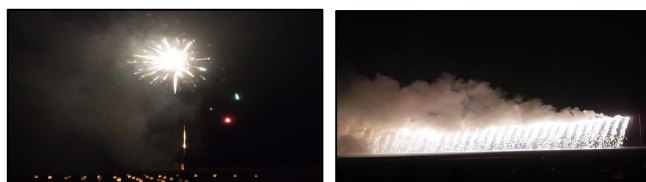
花火・あんどん祭り PTA・地域の支援を受けて

7月3日(金)、夏休み前の子どもたちに、楽しい思い出をつくってもらいたという願いを込めて、PTAと地域の皆さんが企画した上更別小学校伝統行事「花火あんどん祭り」が開催されました。児童は、お祭りに先立ち地域の方からその歴史や受け継がれてきた思いについて話を聞き、改めてこの伝統行事の重みや大切さを感じ取ったようでした。



屋台には長蛇の列

多くの地域住民や卒業生等も訪れ、子どもたちのメッセージが書かれている行燈を見たり、夜空に打ち上がる美しい花火を眺めたりと、夏の一夜を楽しみました。



一日防災学校

災害はいつどこで発生するかわからない

7月14日(火)、更別中央中学校で村内の各機関のご支援をいただき、一日防災学校を実施しました。1時間目は全校で避難訓練を行い、その後、消防署員から熱中症になった時や異物が喉に詰まった時の対応の仕方や止血法・搬送法を学びました。3時間目からは各学年毎にさまざまな体験を行いました。

【1年生～避難所設置】

総務課の村田さん、尾花さん、社会福祉協議会の小丹枝さんが講師として来校。更別村の過去の自然災害について学び、実際にシルバーハウジングに住んでいる人たちと一緒にテント・ベッドを組み立てました。また、新聞紙スリッパの作り方を教わりました。



【2年生～救命講習】

消防署の山角さん、友重さん、荻内さんから、他人の命を救うための初動的な知識と技能を習得するため心臓マッサージとAEDの使い方を教わりました。全員が真剣に実習していました。



【3年生～サバイバルクッキング】

一戸栄養教諭と社会福祉協議会の庄司さんに教わり、赤十字奉仕団の方々と一緒に、ビニール袋を使って湯煎でできる「白米」「筑前煮」「栗蒸しパン」を作りました。また、折り紙容器の作り方も教わりました。



7月28日(金)には、熊本県宇城市で最大震度7を観測する地震が発生し、多くの方々が被災され、今なお厳しい状況の中で苦しんでおられます。十勝にも活断層があり、いつ地震が発生してもおかしくない状態です。発生しないことを祈りますが、もしもの時は、今回の体験をぜひ生かして欲しいと思います。